

事務事業名		斐伊川・神戸川流域における命の絆づくり推進事業		所属部	政策企画部	所属課	ダム対策課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉		所属G	ダム対策G	課長名	西川 徹	
	施策名	〈05〉自然環境・景観の保全		担当者名	福間 央	電話番号	0854-40-1012	
	目的	対象 A)自然環境・景観 B)市民	意図 A)自然環境・景観を守り創造する。B)意識を高め自然環境保護活動を実践する。	予算科目	会計 4 0 0 5 0 2	(内線)	3516	
	基本事業名	〈014〉景観の保全と創造		大事業名	ダム対策事業	中事業名	過疎地域等自立活性化推進事業	
目的	対象 市民	意図 景観を守り、創造する活動に取り組む。	大事業名	4 0 0 5 0 2	中事業名	0 5 0 5 1 1	事業名	事業

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ )
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
雲南市、奥出雲町、飯南町の1市2町による、それぞれの自治体に立地するダム周辺のこれからの継続性のある地域振興、環境保全の有り方を具体的な事業展開を図りながら検討する。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 推進会議実施 各種事業実施	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 事業廃止 (水の縁推進事業に移行)		
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)
	ア 推進会議実施回数	回			6
	イ 実施事業数	件			11
	ウ				
	エ				

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	事業(景観保全、地域振興)	ア 検討事業数	件			11	
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
継続事業となる	ア 実施可能率	%			100.0		
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
洗練化プログラム 2,386千円	財源内訳	国庫支出金	千円		10,000	
企業CSR支援 574千円		県支出金	千円			
セミナー 869千円		地方債	千円			
事業支援業務 3,045千円		その他	千円		263	
その他会議等 3,389千円		一般財源	千円			
	事業費計(A)	千円			10,263	
	人件費	正規職員従事人数	人		3	
		延べ業務時間	時間		1,920	
		人件費計(B)	千円		7,523	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			17,786	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
ダム完成後、いままでの国管理で行われてきた事業が、移管に伴い一部市管理となることが考えられる。	広域的な取組	市民、議会等からも地域振興、景観保全がこれからのいよいよ本格化すると期待と不安が寄せられている。 広域的な取組。

事務事業名	斐伊川・神戸川流域における命の絆づくり推進事業	所属部	政策企画部	所属課	ダム対策課
-------	-------------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒			
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？				
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？				
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒			
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？				
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由			
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない				
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			理由	方向性を示すものであり、廃止をすれば今後の事業展開に影響がある。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有				
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	理由		ダム周辺に特化した事業であり、他に類するものはない。	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる				
評価 の 総 括	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由			
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)				
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある			<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由
評価 の 総 括	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		理由	余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			理由	雲南市全体への影響があることから、受益は公平公正である。
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である				
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)		
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後の地域振興、景観保全への道筋が達成できる。		
	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																			
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持		×																		
	低下	×	×																		
<p>単年度事業である。H25年度以降は「水の縁推進事業」に移行する。</p>		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																			